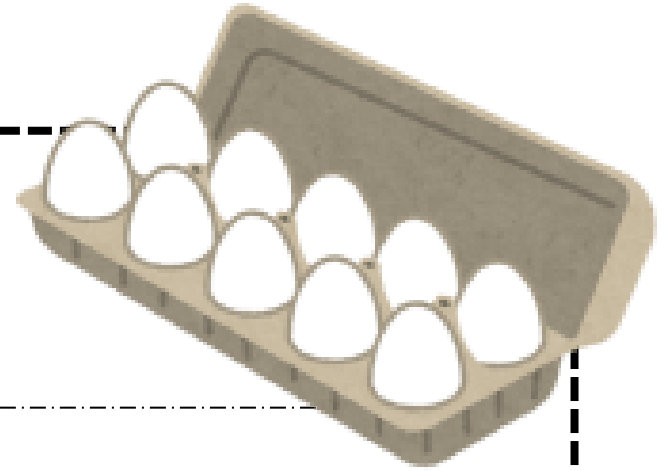


タマゴのトリビア



① 関西人の好きな赤玉タマゴ

タマゴの色は産むニワトリの品種によってちがいます。白色レグホーンや白色フリマスロックという、白いニワトリが白玉タマゴを、黄斑フリマスロックやロードアイランドレッドなどの白くないニワトリが赤玉タマゴを産みます。白玉タマゴと赤玉タマゴ、栄養成分はほぼ同じようです。

② 大きいタマゴと小さいタマゴ

大きいタマゴから孵化したヒヨコは大きいのでしょうか。ヒヨコは、卵黄の表面にある胚が、卵黄の成分をエネルギーにして細胞分裂して育つので、タマゴの大きさは関係ありません。なお、タマゴの大きさにかかわらず卵黄の重量はほぼ同じです。

③ 物価の優等生

タマゴは物価の優等生と言われますが、消費者からみて優等生でも生産者にとってはなかなか厳しいようです。消費指数を勘案したタマゴ1kg（MS卵で15～16個）の価格の試算では、昭和50年約670円、昭和60年約370円、平成7年約250円、平成17年約220円、平成27年約220円となるようです。